



神奈川畜産情報

発行所
 神奈川県畜産会
 横浜市磯子区西町14-3
 畜産センター内
 電話 045(761)4191
 FAX 045(759)1162
 発行人
 平本光男

隔月1回(1日)発行

[神奈川畜産情報(平成18年1月号以降)はホームページでもご覧になれます]

神奈川県畜産会のホームページ

[かながわ畜産ひろば] (<http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm>)

畜産映像情報
 (公社)中央畜産会からのお知らせ

がんばる!畜産!6

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!
 映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!

配信内容: 国産原料100%の飼料で黒毛和牛を飼育する農家に
 令和の畜産危機にさせないために
 密着/シリーズ 令和の畜産危機にさせないために
 /放牧で飼料代・燃料代を抑えた酪農経営/他

スマートフォンからはこちら
 パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846

県人事異動(順不同)

(六月一日付)

畜産課

- ▽副課長(総務局財政部財政課課長代理)(県川崎競馬組合派遣) 佐々木純▽調整グループ副技師(同主査) 白石葉子▽調整グループ主事(農業技術センター主事) 小島十雅▽畜産振興グループGL(同副技師) 池田暁史▽畜産振興グループ副技師(同主査) 齋藤直美
- ▽畜産振興グループ副技師(同主査) 高田陽▽畜産振興グループ主任技師(総務局財政部財政課主任技師)(県川崎競馬組合派遣) 堀口昌秀▽安全管理グループ技師(県中央畜保健衛生所企画指導課技師) 岡京子

県中央畜保健衛生所

- ▽県中央畜保健衛生所所長(県中央畜保健衛生所所長兼畜産技術センター所長) 英俊征▽企画指導課主査(湘南家畜保健衛生所防疫課主査) 石原凡子▽防疫課専門家畜指導員(同防疫課主査) 宮地明子▽防疫課主査(再任用) 宮下泰人▽防疫課技師(食肉衛生検査所技師) 野川英明▽病性鑑定課専門家畜病性鑑定員(湘南家畜保健衛生所企画指導課専門家畜指導員) 高山環

- ▽東部出張所専門家畜指導員(病性鑑定課専門家畜病性鑑定員) 箭内誉志徳

湘南家畜保健衛生所

- ▽企画指導課主任技師(県中央畜保健衛生所防疫課主任技師) 白井葵▽防疫課主査(食肉衛生検査所主査) 山本和明

畜産技術センター

- ▽畜産技術センター所長(同企画指導部長) 秋山清▽企画指導部長(同企画研究課長) 坂上信忠▽企画研究課長(同企画研究課専門研究員) 折原健太郎▽企画研究課専門研究員(同企画研究課主任研究員) 喜多浩一郎▽企画研究課主任研究員(同普及指導課副技師) 川村英輔▽企画研究課技師(県中央畜保健衛生所防疫課技師) 若島亜希子▽普及指導課副技師(同主査) 前田高弘▽普及指導課主査(同企画研究課主任研究員) 松尾綾子

その他

- ▽食肉衛生検査所技師(湘南家畜保健衛生所防疫課技師) 飯島智大▽総務局財政部財政課主任技師(県川崎競馬組合派遣) (畜産課安全管理グループ主任技師) 石原深雪

牛マルキン

(肉用牛肥育経営安定交付金制度)
 交付状況

令和五年一月〜三月の交付金単価
 (肥育牛一頭当たり)(確定額)

肉専用種

- 一月 八一、九四三・二円
- 二月 一〇五、六八七・〇円
- 三月 九五、六三六・七円

交雑種

- 一月 一二、九四七・四円
- 二月 九四、〇三四・一円
- 十二月 一〇、四四〇・〇円

乳用種

- 一月 四三、四七〇・九円
- 二月 四五、九九二・七円
- 三月 五六、七九二・七円

(畜産会 倉迫)

地方競馬の収益金は
 畜産振興に役立てられています。

川崎競馬開催日

- 7月3日(月)〜7月7日(金)ナイター
- 8月21日(月)〜8月25日(金)ナイター
- 9月11日(月)〜9月15日(金)ナイター

畜産会の新たな執行体制 がスタート(役員を選任)

令和5年6月29日に第69回畜産会定時社員総会が開催され、会長を始め役員候補選任がありました。今回の役員補選選任で、大川会長を始め三名の役員がご退任され、同日開催された臨時理事会にて、新たな役員体制は次のとおりとなりました。(順不同、敬称省略)。大川会長を始め旧理事・監事におかれては、畜産会の発展にご尽力賜り誠にありがとうございました。

会 長 平本 光男(農協中央会)
副会長 堀江 則之(学識経験者)
副会長 志澤 勝(畜産振興会)
専務理事 高尾健太郎(畜産会)
常務理事 倉迫 豊(畜産会)

〈理事〉

根本 芳明(全農県本部)
荒井 新吾(県酪連)
鈴木 光雄(養鶏連)
鳥海 弘(県獣医師会)
山口 昌興(養豚協会)
柳下 健一(横浜農協)
龍崎 智(よこすか葉山農協)
西山 國正(さがみ農協)
増田 定二(湘南農協)
宮永 均(秦野市農協)
大貫 盛雄(厚木市農協)

天野 信一(かながわ西湘農協)
小泉 幸隆(相模原市農協)
中里 州克(神奈川つくい農協)

〈監事〉

細野 典之(全農県本部)
鈴木 理央(神奈川中央養鶏)
三野 泰宏(かながわ酪農協)

今回の畜産会の総会は、同日に開催された神奈川県農業協同組合中央会や連合会の通常総会の終了の間隙を縫って短時間で開催されるなど、通常とは異なる形で開催されましたが、役員補選選任も含め提案議案はすべて承認可決され無事終了しました。会員皆様のご協力に感謝いたします。(総務部)



JAグループ神奈川ビル講堂で開催された畜産会定時社員総会の様子

新会長あいさつ



(一社) 神奈川県畜産会
会長 平本 光男

6月29日に開催された臨時理事会にて、第12代会長に就任いたしました。大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。

さて、畜産情勢は、ロシアのウクライナ侵攻による穀物相場の高騰や南米の天候不順による作柄不安等から飼料価格が高止まり、畜産経営がかつてない危機的状況にあります。

こうした中、国は、配合飼料価格安定制度に基づく補填金とは別に、昨年度第3・4四半期分の特別補填金を交付し、さらに本年度、新たな「緊急補填金」の仕組を基金制度に措置するとしています。また、県は、昨年度6月と9月に総額11億6千余万円、さらに本年5月には4億1千余万円の補正予算を措置して畜産農家を緊急支援しており、これらは、現下の畜産農家に極めて有効な支援と考えています。その一方、輸入飼料価格高騰等の影響に負けない足腰の強い経営が展開できるよ

う、中長期的な視点で経営体質を強化していくことが大変重要であり、本会は、昨年立ち上げた「飼料高騰を踏まえた畜産経営の体質強化に向けた協議会」の事務局として、経営体質強化に繋がる取組を県や関係団体と連携して進めているところです。関係の皆様と叡知を振り絞り、この難局を乗り越えていくため、今後ともご協力をお願い申し上げます。

次に、高病原性鳥インフルエンザについては、昨シーズン、26道県で約1、771万羽もの鶏が殺処分され、卵の供給量減少に伴い卵価が高騰する事態が継続しており、豚熱についても、依然として国内で断続的に発生しています。農場の飼養衛生管理基準に基づくウイルス侵入防止対策の徹底など、関係者の総力をもって、万全の防疫体制の構築に努められますようお願い申し上げます。

当会としては、将来にわたり生産者が夢を持てるよう、経営体質の強化や経営安定対策に取組むとともに、県産畜産物が国内外との差別化を図り、県民から信頼され選択されるよう、畜産ブランドの推進等に全力で取り組んでまいります。今後とも、皆様からのお力添えを賜りますようお願いいたします。就任のご挨拶とさせていただきます。

授乳期母豚を対象とした新たな暑熱対策の試み

温暖化により夏の暑さが一層厳しさを増し、畜産経営においては暑熱ストレスによる生産性の低下が問題となっています。養豚では、暑熱ストレスを受けた授乳期母豚が食滞や泌乳量の低下を起こし、子豚の発育が遅れるほか、ホルモン分泌の低下から母豚自体の繁殖サイクルが長期化するなど、農場の生産性を低下させることが問題となります。そこで今回は、暑熱期における授乳期母豚の生産性向上を目的に、分娩豚房に2つの改良を施すことによる暑熱対策（改良①：豚房の床面冷却、改良②：子豚用保温箱からの放射熱の低減）を検討したので、その概要を紹介します。

【方法】

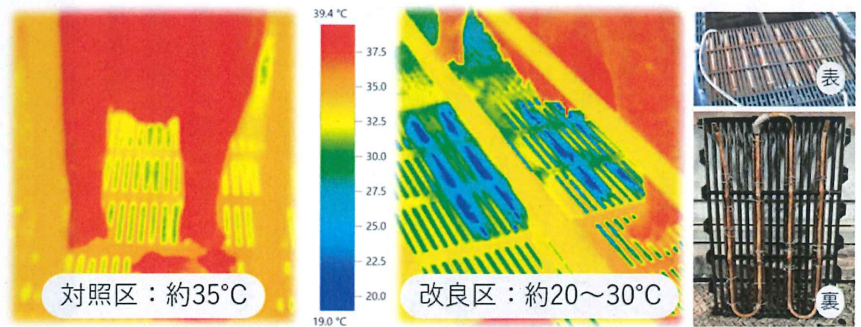
調査期間：令和4年7月～10月

供試豚：ランドレース種 授乳期母豚 6頭

試験区分：対照区（慣行豚房）3頭、改良区（改良①②を施した豚房）3頭

改良①：豚房の床面冷却

- 金属製スノコ床の裏面（胸部位置）に銅管を設置し、地下水を想定した18℃の水を循環させ、床面を冷却した。
- 改良区は床面の温度が、対照区よりも5～15℃低下している（右図サーモグラフィ参照）。



改良②：子豚用保温箱

- 保温箱の開口部の位置を母豚側から通路側へ変え、放射熱（→）が母豚にあたらないように変更した。
- 保温箱を断熱資材のアルミシート（銀色）で覆い、母豚に当たる放射熱を遮断した。



分娩豚房の改良による効果

調査項目	対照区	改良区
高体温（≥40℃）となった日数（日）	7.7	1.0
呼吸回数（回/分）	71.9	54.3
残餌日数（日）	11.3	6.0
哺乳開始頭数（頭）	11.3	12.0
離乳頭数（頭）	10.0	10.7
子豚育成率（%）	90.5	88.5
発情回帰日数（日）	5.7	4.0

【結果】

- 豚房の改良により、**高体温の抑制**や**呼吸回数の減少**が認められました。また、**残餌日数は半分程度**になりました。
- 対照区では当所の平均的な発情回帰日数である4日から約2日延長したのに対し、改良区では**平均的な発情回帰**と同等の数値でした。
- 豚房の床面冷却と子豚用保温箱からの放射熱低減を併せて実施することにより授乳期母豚の**暑熱ストレスを軽減**し、生産性向上に寄与することが示唆されました。

今後も、厳しさを増す夏の暑さに対応した暑熱対策の開発を目指して、試験研究に取り組んでいきます。（畜産技術センター企画研究課 中原祐輔）

新人紹介(その2)

畜産課 安全管理グループ

小澤 なつめ



出身地は？

A 横浜市戸塚区です。

Q 大学の専攻は？

A 獣医病理学研究室でペットバードの肝疾患の分類と、人獣共通感染症である微生物の感染率に関する研究をしていました。

Q なんて神奈川県に？

A 地元の神奈川県に貢献したいと思いと、公務員は色々勉強できて選択肢が広いと考えたからです。

Q 趣味は？

A ピアノを弾いたり、絵を描いたり、実家で飼っている猫をかわいがることです。

Q 県職員としての目標など一言

A まずは早く仕事を覚えることです。将来的には、農家の方の「こ

県央家畜保健衛生所 東部出張所

戸田 久美子



出身地は？

A 横浜市瀬谷区です。

Q これまでの職歴は？

A 県央家保の本所(防疫課で牛と豚を担当)と東部出張所で臨時技師として働いていました。

Q 趣味は？

A 読書。映画化される作品をまずは本で読んで、それから映画を見ると(その逆もありです)、自分が抱いていたイメージと役者の演じたことのギャップを感じられて楽しいです。

Q 県職員としての目標など一言

A 畜産が厳しい情勢なので、神奈川の畜産の元気が出るよう、農家に寄り添って話ができる職員になりたいです。

湘南家畜保健衛生所 防疫課

塚 歩知
(養豚担当)



出身地は？

A 石川県金沢市です。

Q これまでの職歴は？

A 横浜市内の動物病院で勤務後、湘南家畜保健衛生所で会計年度任用職員として働いていました。

Q なんて神奈川県に？

A エキゾチックアニマルを診療したく神奈川県で働く道を選び、その後、縁あって県に採用されました。

Q 趣味は？

A 学生時代に野球やラグビーをやっていたので筋トレ、でも今は、毎日の子育てが楽しいです。

Q 県職員としての目標など一言

A 県内で重大な家畜伝染病が発生し、本県の畜産が衰退の危機に直面することがないように、しっかりと勉強して行動できる職員になりたいです。

湘南家畜保健衛生所 防疫課

安井 嘉代子
(養豚担当)



出身地は？

A 鹿児島生まれ、育ちは茨城です。

Q これまでの職歴は？

A 沖縄県で食肉衛生検査所や動物愛護センターに勤務していました。

Q なんて神奈川県に？

A 学生時代から長く住んでいた地で馴染みがあったため、また帰ってきました。

Q 趣味は？

A 動物を飼うのが好きで、昔は犬や文鳥、フェレットなど飼っていましたが、今は子育てに手いっぱい余裕がありません。

Q 県職員としての目標など一言

A 県民の皆さんと気軽に相談が出来る職員を目指したいです。今は新しい仕事を覚えるのにいっぱいいますが、仕事も家庭も楽しんで過ごしたいです。

身近に迫る海外の悪性伝染病

今年5月、韓国で4年振りに口蹄疫が発生しました。国内では平成12年と22年に発生しましたが、共に韓国で同時期に発生があったため、今回も最大限の注意が必要です。口蹄疫は牛や豚など偶蹄類が感染し、口腔や蹄に水泡を形成する病気で、極めて伝染力が強いことが特徴です。平成22年の国内発生では、牛・豚両方の農場で急速に感染が拡大したため、日本で初めて緊急ワクチン接種が行われ、終息するのに3カ月を要しました。現在、全国の空港などで警戒を強めています

が、農場においても関係者以外の立入を制限し、口蹄疫発生国への渡航は可能な限り控えるなど農場にウイルスを持ち込まない対策を心がけて下さい。

豚熱は、平成30年以降、国内の飼養豚で発生が確認されています。また、野生いのししで豚熱の感染が確認されており、防護柵の設置により農場にイノシシを侵入させないことが極めて重要です。よく似た病名のアフリカ豚熱は豚熱と全く別の病気です、豚やイノシシで発生する致死率の高い伝染病です。アフリカで常在化し、アジアでも確認されています。日本は清浄国ですが、有効なワクチンがないため、発生した場合の畜産業界への影響は甚大となるため警戒

家保だより

が必要です。

最後に高病原性鳥インフルエンザについてです。平成15年度以降国内の飼養家さん(鶏やあひる等)で散発的に発生しています。昨秋から今年春にかけて発生件数、処分羽数共に過去最多となりました。全国的に卵不足に陥り、物価高騰も影響して、卵の卸売価格は今なお高値となっています。

幸い県内の農場で発生はありませんでしたが、昨年度は県内の死亡野鳥で高病原性鳥インフルエンザが確認されました。3月に管内の死亡野鳥で確認された際は、養鶏場が多い

地域だったため、一同緊張感が走りました。生産者と協力して、防鳥ネットの点検・補修作業を実施するとともに、情報

交換会を開催して、地域全体で意識を高めました。それらが奏功し、無事シーズンを終えることができました。ほっと胸を撫でおろす思いでした。現在秋に向けて生産者と共に対策を練っているところです。分割管理などこれまでになかった検討も行っており、万全な対策で秋を迎えたいです。

海外の悪性伝染病がすぐそばまで来ており、予断を許さない状況にあります。飼養衛生管理基準を遵守し、生産者と一丸となって、発生予防に努めて参りたいと思います。

(県中央畜保健衛生所 宮地 明子)

LGBTの法定

守るは弱者か多数派か?

アジサイの花の色は七変化、そのまた種類の多いこと。

昔のこと「馬喰から格安で買った牛が未だ発情が出ないんだけど」「これ、雌牛じゃないよ」「メスじゃないって? 寧ろ陰茎も無いし、ここから小便してるよ、オスじゃないよ。」「オスでないのがメスとは限らないだろ、これは生まれたときの外貌

はメスに見えたらうけど、メスの機能がない牛だよ。陰門も

新むらすずめ

小さいだろう。牛の双子でオスとメスが生まれた場合のメスの約九〇%はメスの機能が無い。これをフリーマーチンと言うんだよ。」「えっ、そんな!騙されたか!」

ヒト以外の哺乳類にもオスでもメスでもない半陰陽等がありますが、頭脳の発達したヒトは更に身体の性と心の性が合致しない方々が大勢なのが周知の事実。

それは羞恥ではないよね。

性愛感情を抱くのが女性同士の

「L」。男性同士での「G」。両性に抱く「B」。出生時の性と自認する性が異なる「T」。特定枠に収まらない(わからない)「Q」。誰に対しても性愛感情を抱かない「A」。

生まれ持った性に関わる境遇のために「いじめ」に遭い、婚姻の自由を与えられない等の迫害を受けています。この性的少数者への差別や偏見を根絶するために「LGBT理解増進法」

が成立しましたが、差別に苦しんでいる方々の苦痛を軽減するためよりも、偏見

を助長するような内容に文言が変更されてしまった。「性的指向及び性自認を理由とする差別は許されない」の表現は消え、「差別は許されない」は「不当な差別はあつてはならない」になつてしまった。「正当な差別」なんてあるのか?この法律が「自認する性別が異なる方々」の「公共の風呂やトイレの使い方」程度にしか考えない国会議員に義憤を覚えざるを得ない。

(忠九朗)



令和5年度

令和5年6月23日版

～畜産業物価高騰対応費補助事業のご案内～

飼料の価格上昇が畜産経営に及ぼす影響を緩和するため、補助金を交付します！

1 支援内容

- (1) 配合飼料価格高騰支援事業
→県が畜産農家に対し、配合飼料購入費の一部を補助します。
- (2) 輸入乾牧草価格高騰支援事業
→県が牛飼養農家に対し、輸入乾牧草購入費の一部を補助します。

2 支援対象

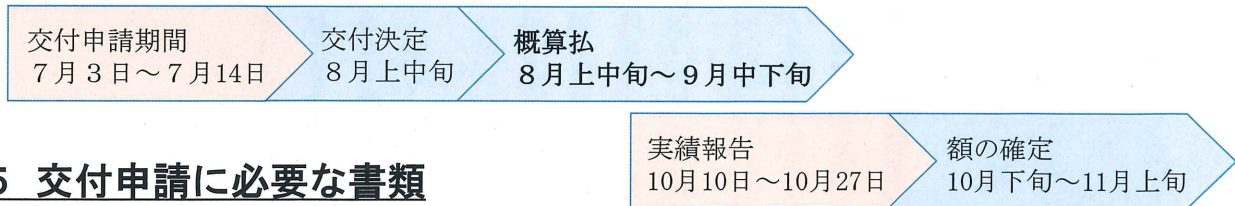
県内に農場が所在する畜産農家（令和4年度の畜産物販売金額が50万円以上の方）で、令和6年度以降もその農場で畜産経営を継続し、畜産物を出荷する見込みがある方。

3 支援単価（予定上限額）

家畜1頭羽数当たりの支援単価を定め、飼養頭羽数（※）に応じて、予算の範囲内で交付します。
※家畜伝染病予防法第12条の4に基づく定期報告の飼養頭羽数（令和5年2月1日時点）です。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 配合飼料価格高騰支援事業 ・乳用牛 8,500円/頭 ・肉用牛 7,100円/頭 ・養豚 2,000円/頭 ・養鶏 93円/羽 | <ul style="list-style-type: none"> (2) 輸入乾牧草価格高騰支援事業 ・乳用牛 17,900円/頭 ・肉用牛 3,800円/頭 |
|---|--|

4 事業スケジュール（予定）



5 交付申請に必要な書類

- ・畜産業物価高騰対応費補助事業補助金交付申請書
- ・神奈川県暴力団排除条例にかかる誓約書
※令和4年度に提出いただいた方も必要です
- ・畜産経営の継続等にかかる誓約書
- ・交付申請額算定シート
- ・家畜伝染病予防法第12条の4に基づく定期報告書（飼養頭羽数）の写し
- ・令和4年度確定申告（農業に係る販売額）等の写し
※畜産関係団体で、当該畜産農家が畜産物を販売していることを確認できない場合
- ・補助金の振込先の通帳（表紙を1ページめくった中表紙の見開き）等の写し

6 提出期限（予定）

令和5年7月3日（月）～7月14日（金）

書類の提出先及び実績報告に必要な書類と提出期限は別途お知らせします。

問合せ先 神奈川県環境農政局農水産部畜産課
電話 045-210-4506（直通）



現在、本事業に関するホームページを作成中です。

